大学選びに役立つ受験生のための情報誌

高野山大学のすゝめ

聖地 高野山で学ぶ

若者よ、高野山で開花せよ

目次

02 今月のひとこと お大師さまは言いました
密教学科 教授 下西 忠

03 最近のできごと
活動報告・年中行事

04 こんなことが学べます
人間学科／密教学科

06 未来のお坊さん THE MONK

07 Road Runner 卒業生のいま

08 オープンキャンパスのご案内／入学試験日程

2016 spring volume.001

高野山大学は今年で創立130周年を迎えました。

今月のひとこと

お大師さまは言いました

真俗離れず

（綜芸種智院の式）

解説

近道ばかり考えないで、ちょっと遠回りするかもしれませんが、それが案外「いきる」ことになるのです。

狭い世界にとどまらないで、広い世界に目をむけよう、というのです。

お大師さまが活躍された時代、教育については三教（儒教、道教、仏教）に縛られず、あらゆる学芸や思想もあわせて修学しなくてはなりませんでした。それが「綜芸種智院（※）の式」の教育理念なのです。「それだけすればいい」というものではなく、その周辺もいっしょに学びましょう、ということ。

つい私たちは時間がないからと、「早く事をなしとげたい」「核心的なところだけでいい」と思いがちです。しかし、「遠回りすること」も必要なのではないでしょうか。遠回りのように見えて、案外それが近道になることもあるのです。

高野山にゆかりのある歌聖西行は、「和歌を詠むことは、一体の仏像をつくるのと同じことである」と言ったそうです。また密教の真髄を尋ねられたとき、西行は慈円に「まず和歌を詠むこと、それが大切です」と答えたと言います。

「真」も「俗」も一体なのでしょうね。ありがたいお言葉でした。

※綜芸種智院：天長5年、弘法大師空海が総合的教育を目的に京都へ設置した私立学校

ワタシが
かいせつします

大学というところは、これからの人生を深く考える「場」だと思います。喜怒哀楽を感じながらゆっくりと考える、深く考えるのです。

下西 忠　密教学科 教授

専門：仏教文学全般
担当科目：国文法、日本文学史概説
日本文化特殊講義（韻文文学の鑑賞）
日本文化講読演習（和歌の魅力）
日本文化方法論演習、国語科教育法

お大師さま

弘法大師（空海）は広く人々の信仰をあつめ、敬慕の念と親しみを込めて「お大師さん」「お大師さま」と尊称されています。

最近のできごと

人間学科 人間学基礎ゼミ座談会

人間学科基礎ゼミの最終回、一年の学びを振り返る座談会が開かれました。参加者は、人間学科の学生5名と、基礎ゼミの授業を担当する山脇先生と森本先生。はじめに山脇先生から、一年間の学生生活の中で一番印象に残っていることは何か、という質問があり、学生が順番に自分の印象に残っていることを話していきました。一番多く出たのは、7月の「森里川海」会議での発表。「人間学は間口が広いので、いろいろなことが学べてよかった」、「高校までの勉強と違って、大学は自分の関心が中心なのが、自分には向いている」という声もありました。山脇先生のまとめは、「いろいろ予定外のこともやってもらいましたが、皆さんの成長をサポートしようという点にはブレはなかったと思う」というものでした。

軽音楽部、一年の総決算「銀河祭」開催！

今年度も銀河祭が開催されました。銀河祭は、二年前から行われている軽音楽祭で、クリスマスである十二月二十五日に開催していましたが、本年は高野山、開創1200年の年でもあり、軽音楽部の部員が関連行事で都合がつかず、苦渋の選択の末、日程をずらして今回は一月十四日に開催することとなりました。

部員も忙しい期間の中、少ない練習時間ではありましたが、学友会委員長をはじめ、大学職員などいろんな人々の力をお借りして、今回の銀河祭を成功させることができました。部員たちも本番はしっかりと演奏することができたようで、ひと安心でした。

今後も、銀河祭を盛り上げていけるように、後輩のみなさんにも、是非頑張ってもらいたいと思います。

加行（けぎょう）道場

高野山大学のキャンパスの中には、大菩提院という真言僧侶になる為の修行を行う道場があります。毎年、八月、九月の夏休みと二月、三月の春休みの期間、真言僧侶を目指す本学生は、この道場で計百日間の修行を行っています。特に二月、三月の高野山は冬の寒さが厳しい時期なので、道場の中は零度以下であることがほとんどです。暖房器具は使用せずに修行します。木の床を水拭き掃除していると凍っていきます。読経の声には白い息が伴います。行者は自らが座す半畳が氷のようだと言います。吹雪の中、凍った雪の上を下駄で歩いて参拝に行きます。仏さんにお供えした湯気が立つお茶はアイスになります。そして、しもやけになった耳でうぐいすの鳴き声を聴きます。今年もそんな修行から一年が始まりました。

戦国武将真田氏と高野山

今年のNHK大河ドラマは、「真田丸」が放映されています。時は、血湧き肉躍る有力な大名が覇権を争う群雄割拠の戦国時代です。実は、この真田氏と高野山とは深い関係にありました。真田氏一族や家臣・領民が高野山参詣をした時は、必ず塔頭寺院の中の蓮華定院への宿泊を約束していました。古くは真田昌幸の祖父とされる海野棟綱（うんのむねつな）の時代から、そのような関係が続いていました。

一方、蓮華定院側では、真田氏の領地があった信濃国へ出向いて高野山のお札を家々に配って廻りました。高野山と真田氏は時空を超えたネットワークで結ばれていたのです。真田氏にとって蓮華定院は宿坊寺院で、蓮華定院にとって真田の里はテリトリーの檀那場なのでした。このように高野山は日本史上の様々な舞台になっています。高野山大学で歴史を学びましょう。

が学べます

ワタシが教えています

人間学科 教授
山脇 雅夫

人間学基礎ゼミ

大学という場所で学ぶための“基礎体力”づくり

学生による発表や討論を中心とした実践型講義。社会で求められる、問題を発見する力とそれを解決するための技法を学びます。高野山に関係する歴史や文学、思想、地域生活といったテーマを題材にしています。

講 人間学科

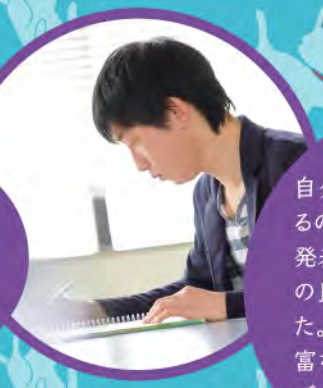
現場の生の声から地域づくりのリアルを学ぶ

「地域に学び、地域に活かす」をひとつの柱とする人間学科。これまで学んできた知識をより深めるため、地域づくりの現場に関わる様々な方をお招きしています。

先日のゲストスピーカーは高野町の元副町長、高橋寛治さん。行政の立場から地域づくりに取り組んでこられた長年の経験をもとに、たくさんのリアルなお話を聞くことができました。

「まずはその地域のことをよく知らないと、ただ地域づくりといってもおかしなことになる」という高橋さんのメッセージは、地域学を考えるうえでの根本を言い当てたものです。学生からの質問にも分かりやすく答えていただき、充実した時間となりました。

声



自分は教員を目指しているので、大勢の人の前での発表は、教壇に立ったときの良い予行演習になりました。山脇先生は話題が豊富な方でとても接しやすいです。

人前で発表するという体験は良い経験になりました。また、たくさんの人の異なった意見を聞くことで、物の見方には、いろんな考え方があることを学ぶことができました。

学生の声

こんなこと

密教学科 講

ワタシが教えています

真言密教特殊講義

仏像ガールも歓迎！ 仏からひも解く密教の世界

インドに生まれ、東南アジア、中国を経由して日本へ伝えられた密教。密教の仏は、伝播したそれぞれの地域文化の影響を受け、様々な姿・形で表現されるようになりました。この授業では、密教仏の様々な表現方法や尊格構成、その譜系について学びます。

密教学科 准教授
松長 恵史

曼荼羅の仏像たちがいざなう より深い密教の世界へ

仏の種類は大きく分けると、如来・菩薩・明王・天の四種類。平安時代末から鎌倉時代の資料には、大日如来をはじめとする如来、様々な表現方法をとる観音や普賢、文殊などの菩薩、さらには不動明王など、密教特有の仏について記されています。これらの資料を通して、密教における仏の表現方法や尊格分類の基本知識を身につけるのがこの授業の目的です。

また日本ではあまり目にすることのないインドやチベット、東南アジア、中国に現存する密教仏も紹介。最終的には、弘法大師空海が日本に伝えた「胎蔵曼荼羅」や「金剛界曼荼羅」に登場する仏について学習し、仏が織りなす密教の世界の理解を深めましょう。

学生の声

仏像の写真を見ながらの説明がとても分かりやすかったです。松長先生の講義は資料が豊富で、説明も明るく丁寧なので、いつも楽しく受講させてもらっています。

私は曼荼羅をきっかけに密教を学び始めました。この講義は私が長い間知りたかったテーマが満載で、広く、深く、豊かな知識を得ることができました。

未来のお坊さん

THE MONK

島田 凌弘さん

密教学科　3回生
和歌山県立橋本高等学校出身

「お坊さんと地域との架け橋に」ラジオDJもこなすマルチ坊主

お坊さんと教師、ふたつの夢に向かって頑張る島田さん。大学で勉強するかたわら、地元橋本市のFM局でパーソナリティとしても活躍中だ。トピックスは大好きな地元の情報から仏教トークまで様々。「まだ本当のお坊さんじゃないからこそ、誰にでも分かる言葉で仏教のことを伝えられることもあると思うんです。こういった活動を通して、仏教と地域の人々との架け橋になりたい」。

最近ではドラマや映画でも注目のお坊さん。そんな今だからこそ、ドラマと現実の違い、僧侶としての喜びや大変さなどリアルな姿を人々に発信する「マルチなお坊さん」が島田さんの理想だそう。地元を愛する若者として、そして未来のお坊さん先生として、島田さんのマルチな活躍が楽しみだ。

「FMはしもと」でDJとしても活躍中

オープンキャンパスで
高校生らを案内をする島田さん

文学部密教学科で漢文や密教の基礎をはじめ、中国語などの語学を学んでいます。また、国語の先生を目指して、教職課程の科目も勉強中。両親も僧侶兼教師だったので、その背中を追いかけてるのかも知れませんね。

いま大学で
勉強していることを
教えてください

壇上伽藍の西塔前は絶対におすすめですね。大きな塔ではありませんが、ここに立つと壇上伽藍の中でも少し静かな空間が広がります。周りには根本大塔や御社なども見渡せるので、写真撮影にもベストスポットです。

高野山で
おすすめの場所を
教えてください

こうやくん

あなたが思う
高野山の魅力は
なんですか

都会のように遊べる場所はないけど、いろんな人に出会えるのが高野山です。大学のご近所さんやお店の人、観光客。身近なところに様々なご意見番がいて、大学だけでは学べない多くのことが体験できるのが魅力ですね。

行ってみたい
旅行先とその理由を
教えてください

中国の西安に行ってみたいですね。西安はかつて唐の都だった長安で、お大師さんが遣唐使として留学した都市。まさに密教を学んだ場所です。いつかこの地に立つことで、多くのことを体感できるような気がします。

高野山大学を
選んだ動機は
何ですか

実家を継いで僧侶になること。そして地元の出身校で教師になること。その2つを叶えるために高野山大学を選びました。和歌山県の橋本市が地元なので、子どもの頃から高野山が身近な存在だったことも大きいです。

Road Runner

Yotaro Kikuchi

幼稚園で奮闘する新米先生

菊地 洋太郎さん

高野山大学文学部密教学科卒業
高野山大学大学院文学研究科
密教学専攻 修士課程修了
高野山大学職員を経て現在幼稚園勤務

埼玉県出身。在学中は合気道など部活動でも活躍。大学院を卒業後は高野山大学での勤務を経て埼玉へ帰郷。現在は実家が経営する幼稚園で勤務のかたわら、幼稚園教諭の資格取得に向けて猛勉強中。

家業を継ぐため一念発起。幼稚園教諭を目指して修行中

2018年で創立70周年を迎える埼玉県の幼稚園。曾祖母の代から運営するこの園で、幼稚園教諭を目指して日々奮闘するのが菊地洋太郎さんだ。園児たちの送迎から事務全般まで幅広い業務をこなす菊地さんは、自身もここの卒園生。「私が園児だった頃の先生が、今でも現役。一生頭が上がりませんね（笑）」。いずれは園長として経営を担っていく菊地さんだが、現在はまだまだ修行の身。業務を続けながら、夜間学校で幼稚園教諭の資格を取るのが今の目標だそう。「資格がなくても園長にはなれます。でもそれでは、長年この仕事に情熱を注ぐ先生方に失礼ですから。それに今は子どもたちがかわいくて仕方ないんです。しっかり先生としての経験を積んで、期待に応えていきたい」。

反発ばかりしていた中高時代。高野山は自分を見つめ直す場所

「正直、中高生の頃は少し荒れていて、悪いこともたくさんしました。甘ったれてたんですね。それが高野山で先生や先輩、お寺や町の人たちから大きな影響を受けて自然と変わっていった。両親からは〝別人になった〟と驚かれましたね」。お寺に住み込み、弟子としてお勤めをしながら大学へ通う〝寺生〟だった菊地さん。卒業後は大学職員として働き、十年もの月日を高野山で過ごした。

「〝よいことはゆっくり進む〟というガンジーの言葉があります。幼稚園は子どもに社会性の基礎を教えるところですが、それが身について表れるのはずっと先のこと。見届けることはできないけど、その日を信じて全力で教えることが、お世話になった人たちへの恩返しだと思うんです」。

卒業生のいま

オープンキャンパスのご案内

高野山大学では毎日がオープンキャンパスです。事前にお申し込みいただければ月曜日から金曜日までの間いつでもキャンパス内をご覧いただけます。さらに下記の日程でイベントや体験授業などの催しを予定しています。より深く本学を知っていただけるよう各種相談会なども開催しております。

開催するイベント内容は予定です。詳細は決定次第大学公式サイトでご案内致します。

【下記日程のイベント内容】

キャンパスツアー
学科紹介
入試対策講座
体験授業
個別相談
高野山映像鑑賞
学食無料体験

5/29(日)

7/17(日)

8/20(土)

9/25(日)

10/16(日)※

※大阪サテライトキャンパスで開催

11/6(日)

イベント日程や詳細、またご参加・ご見学希望の方は
大学公式サイトよりお申し込みください。
www.koyasan-uc.ac.jp

平成29年度 入学試験日程

		入試種別		出願期間	試験日	試験会場
大学	文学部	密教学科／人間学科	AO入試Ⅰ期(※)	平成28年9月1日(木)～9月20日(火)消印有効	10月1日(土)	本学
			AO入試Ⅱ期(※)	平成28年11月2日(水)～11月21日(月)消印有効	12月3日(土)	本学
			指定校推薦入試	平成28年10月17日(月)～11月4日(金)消印有効	11月12日(土)	本学
			併設校推薦入試	平成28年10月17日(月)～11月4日(金)必着	11月12日(土)	本学
			寺院後継者特別入試	平成28年10月17日(月)～11月4日(金)消印有効	11月12日(土)	本学
			特定入試(書道)	平成28年10月17日(月)～11月4日(金)消印有効	11月12日(土)	本学
			公募制推薦入試	平成28年11月2日(水)～11月21日(月)消印有効	12月3日(土)	本学
			一般入試(前期)	平成29年1月10日(火)～1月30日(月)消印有効	2月6日(月)	本学・東京・大阪
			一般入試(後期)	平成29年2月13日(月)～3月1日(水)消印有効	3月8日(水)	本学
			社会人入試(前期)	平成29年1月10日(火)～1月30日(月)消印有効	2月6日(月)	本学
			社会人入試(後期)	平成29年2月13日(月)～3月1日(水)消印有効	3月8日(水)	本学
		密教学科	3年編入 社会人編入(前期)	平成28年11月2日(水)～11月21日(月)消印有効	12月3日(土)	本学
			3年編入 社会人編入(後期)	平成29年2月13日(月)～3月1日(水)消印有効	3月8日(水)	本学
	別科	密教専修コース	第一次	平成28年11月2日(水)～11月21日(月)消印有効	12月3日(土)	本学
			第二次	平成29年2月13日(月)～3月1日(水)消印有効	3月8日(水)	本学
		スピリチュアルケアコース	第一次	平成28年11月2日(水)～11月21日(月)消印有効	12月4日(日)	大阪
			第二次	平成29年1月30日(月)～2月24日(金)消印有効	3月5日(日)	大阪
大学院	通学制	修士(博士前期課程)コース 修士社会人コース 修士僧侶コース 大学院博士後期課程	前期入試	平成28年9月1日(木)～9月20日(火)消印有効	10月1日(土)	本学
			後期入試	平成29年2月6日(月)～2月22日(水)消印有効	3月4日(土)	本学
	通信制	大学院密教学専攻 通信教育課程	前期入試	平成28年7月19日(火)～7月29日(金)消印有効	10月1日(土) 書類審査後面接	本学
			後期入試	平成29年1月6日(金)～1月25日(水)消印有効	2月25日(土) 書類審査後面接	本学

※AO入試には事前エントリーが必要です。

試験会場のご案内　東京会場／アルカイディア市ヶ谷・私学会館(千代田区九段北4-2-25)
大阪会場／大阪大学中之島センター 高野山大学サテライトキャンパス(大阪市北区中之島4-3-53)

発行元／高野山大学　〒648-0280　和歌山県伊那郡高野町高野山385　TEL.0736-56-5445　FAX.0736-56-2746